

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------------------|----|-----------------|
| ○事業所名 | アートチャイルドケアSEDスクール岡山早島Plus* | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 10月 15日 | | ~ 2024年 10月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 33 | (回答者数) 14 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 10月 15日 | | ~ 2024年 10月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) 9 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2024年 12月 24日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | 親子通所である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りの時間確保が十分にあることで次につながる活動を保護者と一緒に考えている。 ・ 保護者に見てもらふことで得意不得意、できるようになったことなどの発達の道筋の共通認識ができている。 ・ 一人ひとりに合わせたプログラムの実施することで得意なことはさらにできるようになっている。 ・ 記録やカンファレンスを詳細に行い、記録を細かくとっている。 | 専門性や療育の質の向上のため、定期的な事業所内研修の実施していく。 |
| 2 | プラスケア児の受け入れを行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 安心安全にお預かりするための環境設定に配慮している。 ・ 預かりで時間が長い場合、医療からの継続ケアをみんなでかみ砕いて考える時間が持て、その内容を踏まえて、お子さまに活動の提供ができる。 | 緊急時対応が確実にできるように定期的なシミュレーションを行う。 |
| 3 | 複合型施設である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 園や地域との交流が持てる。 ・ 施設全体での定期的なイベント開催 | 他施設との連携強化、相談体勢を整える。 地域の人や外部講師を招いての学びの場を提供を検討していく。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|----------------------------|--|
| 1 | これからペアトレに力を入れていく。 | 分野に関する知識は十分にあるが、実施経験が少ない。 | 研修に参加し、実践を積んでいく。 |
| 2 | 放デイの受け入れがない。 | 利用児の低年齢化により、放デイ受け入れの余裕がない。 | 放デイがないため、就学先への引継ぎを丁寧に行い、就学後の相談にも対応していく。 保育所等訪問支援に繋げていく。 |